

アクションプラン特定施策の レビューについて

平成26年12月22日
エネルギー戦略協議会事務局

アクションプラン特定施策レビューの進め方

◆ 年間PDCAサイクルの確立

- 平成27年度アクションプラン施策特定時に“今後の課題”をとりまとめた。
- 今後の課題、政府予算案を踏まえ、個票、詳細工程表の最新化を実施する。

◆ 施策推進に関する留意点とりまとめ

- 社会実装までの効果的な連携に係る議論を行うために、研究開発から社会実装までの各施策の役割や関連施策との関係性の整理を踏まえ、レビュー対象施策を検討する。【第7回】
- 効果的な連携、施策推進に関する留意点を取りまとめる。【第8回、第9回】

社会実装までの
関連施策の役
割・関係性を整
理（資料3-1）



【第7回】
レビュー対象とする
連携施策を議論



【第8回】
対象施策
のレビュー



【第9回】
施策推進に関
する留意点の
取りまとめ

議論いただきたい事項

- ◆ 施策推進の留意点とりまとめを効果的に進めるために、事前に整理しておくべき事項について議論頂きたい。
 - 連携にはどのようなタイプが存在するのか。（基礎～応用～実装間の橋渡し、規制緩和のように研究開発の出口での連携、仕様の受け渡しのようなシーケンシャルな連携等）
 - 研究開発現場において、相乗効果を生み出すために実践されている工夫。
 - その他
- ◆ アクションプラン対象施策のレビューについて
 - 社会実装までの効果的な連携に係る議論を深めるために、どのような施策を対象とするべきか。（第7回議論予定）

添付 アクションプラン特定施策

主な取組	実施府省	SIP肉付け	施策名	概算要求時予算(百万円)	今後の課題
洋上風力発電システムの開発	経産省		風力発電技術研究開発	8,505	<ul style="list-style-type: none"> ・風力発電の導入計画に基づく実用化に向けたシナリオを踏まえ、電力輸送等の周辺技術と一体となって開発を推進。 ・関係府省との連携をより積極的に実施し、取組を効率的に推進。
	環境省		洋上風力発電実証事業	1,771	<ul style="list-style-type: none"> ・本施策で得られる成果を、浮体式洋上風力の早期事業化に確実につなげるべく、関係府省との連携をより積極的に実施し、取組を効率的に推進。
太陽光発電システムの開発	経産省		福島再生可能エネルギー研究開発拠点機能強化事業	1,600の内数	<ul style="list-style-type: none"> ・本施策の技術目標を達成するために福島再生可能エネルギー研究所の整備を推進。 ・太陽光発電以外の地中熱利用・地熱発電等についても関係府省との連携をより積極的に図り研究開発を推進。
	文科省		革新的エネルギー研究開発拠点の形成	454	<ul style="list-style-type: none"> ・高い発電効率の目標が設定されており、今後も経済産業省とも連携のうえ国際競争で勝てる技術開発を推進。
	経産省		太陽光発電技術研究開発	6,000	<ul style="list-style-type: none"> ・国際競争力確保、普及拡大の観点から、性能評価、長期信頼性評価、発電量予測等の手法確立及び標準化に係る取組を推進。 ・太陽光発電の普及拡大に伴う社会的負担軽減のためのシステム、仕組みづくりを推進。

添付 アクションプラン特定施策

主な取組	実施府省	SIP肉付け	施策名	概算要求時予算(百万円)	今後の課題
高効率火力発電の開発	経産省		石炭火力発電の高効率化	5,950	・ I G C C、IGFCに係る技術開発に留まらず、CO2排出量削減策として有効なCCS技術や環境省との連携をより積極的に図り、将来の実用化シナリオを踏まえ普及展開を推進。
二酸化炭素分離・回収・貯留技術の開発	経産省		二酸化炭素回収技術実用化研究事業	560	・石炭ガス化複合発電、環境調和型製鉄プロセス等の将来CCS技術の適用先となる施策や、関連法令の所管省庁とより積極的に連携を図り、民間企業による事業化を含めた実用化シナリオを踏まえ普及展開を推進。
	経産省		二酸化炭素回収貯蔵安全性評価技術開発事業	812	
	経産省		二酸化炭素削減技術実証試験事業	9,000	
革新的燃焼技術の開発	経産省	○	クリーンディーゼルエンジン技術の高度化に関する研究開発	650	・産学双方のより積極的な参加を促す評価の仕組みを確立し、産学連携体制を強化。
次世代海洋資源開発技術	文科省	○	次世代海洋資源調査システムの開発	1,069	・資源開発技術を担当する経済産業省等と、今後さらなる密な連携を推進。 ・技術の実用化に向け、目標とする仕様をベンチマークを踏まえて適宜見直しつつ取組を推進。

添付 アクションプラン特定施策

主な取組	実施府省	SIP肉付け	施策名	概算要求時予算(百万円)	今後の課題
バイオ燃料	経産省		バイオ燃料技術研究開発	4,220	・収支分析(物質収支、エネルギー収支、コスト収支)に基づくビジネスモデルを踏まえ普及展開を推進。
	農水省		地域バイオマス資源を活用したバイオ燃料及び化学品等の生産のための研究開発	246	・収支分析(物質収支、エネルギー収支、コスト収支)に基づくビジネスモデルを踏まえ普及展開を推進。 ・コスト削減のみならず、農林業の活性化、インフラ整備等も含めて検討し、市場形成を推進。
省エネプロセス技術	経産省		環境調和型製鉄プロセス技術開発	4,780	・他の競合技術を含めたベンチマークも踏まえ取組を推進。 ・CO2分離・回収・貯留技術(CCS)施策との連携をより積極的に推進し、将来の実用化シナリオを踏まえ取組を推進。
省エネプロセス技術	経産省		革新的印刷技術による省エネ型電子デバイス製造プロセス開発	830	・他の競合技術を含めたベンチマークも踏まえ取組を推進。 ・府省連携をより積極的に推進し、本取組を加速。
省エネプロセス技術	経産省		微生物触媒による創電型廃水処理基盤技術開発	200	・省エネルギー、CO2排出削減、産業競争力強化等の効果をより明確にし取組を推進。 ・関係府省や当該技術の適用先との連携をより推進し、成果の普及展開を推進。

添付 アクションプラン特定施策

主な取組	実施府省	SIP肉付け	施策名	概算要求時予算(百万円)	今後の課題
エネルギーキャリア	経産省	○	革新的水素エネルギー貯蔵・輸送等技術開発	1,750	・これまでの取組の成果や実用化シナリオを踏まえて技術開発を推進。
	文科省	○	地エネルギーキャリア製造次世代基盤技術の開発	1,440の内数	・これまでの取組の成果や実用化シナリオを踏まえて技術開発を推進。 ・長期の取組であることから、中間段階での成果の適宜実用化を推進。
次世代蓄電池技術	経産省		蓄電池・蓄電システム研究技術開発	6,500	・今後の蓄電池の普及促進にあたり、電池の残存性能評価に関する取組と、より積極的に連携。
	経産省		蓄電池材料評価基盤技術開発	460	・本施策で構築する基盤技術が、企業間・産学間の成果の橋渡しを促し、蓄電池の開発速度を加速化するイノベーションハブとなるよう取組を推進。
	文科省		ポストリチウムイオン蓄電池等革新的エネルギー貯蔵システムの研究開発	6,932の内数 /2,902の内数 /448の内数 /14,934の内数	・海外とのベンチマークを踏まえ、先端技術の研究開発を推進。 ・産業界のニーズに基づいた研究の推進や成果の確実な受渡しなど、今後も経済産業省との連携を密にした、取組を推進。

添付 アクションプラン特定施策

主な取組	実施府省	SIP肉付け	施策名	概算要求時予算(百万円)	今後の課題
蓄熱・断熱等技術	経産省		未利用熱エネルギーの革新的活用技術研究開発	1,950	<ul style="list-style-type: none"> 長い期間の取組であることから、市場のニーズを踏まえつつ開発を推進し、中間段階での成果の適宜受渡し・実用化を着実に実施。
	文科省		熱需給の革新に向けた未利用熱エネルギー活用技術の創出	6,932の内数 /2,001の内数	